

県庁舎敷地の有効活用の検討に向けたサウンディングの実施について

1 要旨・目的

県庁舎敷地の新たな利活用の可能性、整備手法及び事業参入可否等について、民間事業者との対話を通じた意見募集（サウンディング型市場調査）を行う。

○サウンディング型市場調査とは

事業発案段階や事業化検討段階において、事業内容や事業スキーム等に関して、直接の対話により民間事業者の意見や新たな事業提案の把握等を行うことで、対象事業の検討を進展させるための情報収集を目的とした手法である。また、事業の検討の段階で広く対外的に情報提供することにより、当該事業に対する民間事業者の理解の促進や参入意欲の向上を期待するものである。

※「地方公共団体のサウンディング型市場調査の手引き」（平成30年6月 国土交通省総合政策局）から出典

2 現状・背景

広島市中心部の再開発や街づくりが進む中で、県庁舎敷地の有効活用を図り、憩いや賑わいの場などの創出に向けて、令和4年度においては、第一駐車場や県庁の森などの県庁舎敷地の有効活用を調査・検討することとしている。

3 概要

(1) 対象者

民間事業者

(2) 実施内容・スケジュール

① 実施要領の公表（令和4年5月19日（木））

② 参加を希望する事業者に対する現地見学会・説明会（令和4年5月31日（火））

③ 参加申込受付期間（令和4年5月19日（木）～7月8日（金））

【主な意見募集内容】

- ・実施可能な事業（概要、コンセプト、活用イメージ等）
- ・目的を実現するために必要な条件（経営収支等に係る課題等）
- ・創意工夫（新規性、周辺地域への波及効果、民間事業者のノウハウを活かした提案等）

④ 参加申込のあった事業者に対し個別ヒアリングの実施（令和4年7月25日（月）～29日（金））

⑤ サウンディングの実施結果概要の公表（令和4年8月中旬（予定））

(3) 今後の対応

令和4年度				令和5年度
4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
サウンディング	取りまとめ ・公表	事業者選定		事業の実施

※ 8月を目途に利活用素案を取りまとめ、その後、有識者等による選定委員会、プロポーザルなどを実施するとともに、本年度中に事業者を決定し、令和5年度中の事業者による整備完了を目指す。